

# 18. 園芸施設整備 (完了)



津波や原子力発電所事故により大きな被害を受けた市の農業を復興するため、園芸施設を整備し、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいきます。

## 事業概要

- 津波や原発事故により被災した農業者の早期の営農再開と風評被害克服のため、園芸施設（養液栽培）を整備しました。
- 整備した土地は防災集団移転促進事業の移転元地として被災した方々から市が買取りを行った土地を活用しています。
- 市が復興交付金を活用して園芸施設の整備を行い、施設を運営する農業法人を公募し、選定された法人に施設を貸与します。
- 施設を貸与された法人は、施設を使って野菜の生産と出荷に取り組みます。



### 【園芸施設の概要】

| 地区面積 | 施設の種類        | 運営法人      |
|------|--------------|-----------|
| 5ha  | 連棟型ハウス(水耕栽培) | 株式会社ひばり菜園 |

## スケジュール

| 地区    | 項目    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 備考             |
|-------|-------|------|------|------|------|----------------|
| 南海老地区 | 用地確保  |      | →    |      |      |                |
|       | 運営者公募 |      | →    |      |      | 公募型プロポーザルにより選定 |
|       | 施設整備  |      |      | →    | →    | 公募型プロポーザルにより選定 |
|       | 営農開始  |      |      |      | →    | 平成28年夏より生産開始   |

## 完成写真

- 施設は、大規模で連棟化された鉄骨ハウスです。
- 栽培は水耕栽培であり、小ネギ、カキチシャ、トマトを周年栽培しています。
- 地域の雇用の受け皿として、50名程度の雇用が創出されています。



## 事業費

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 総事業費 | 約17億円 | 復興交付金 |
|------|-------|-------|

## 今後の推進方針

- 本市における植物工場や園芸施設の推進にあたり、今後の事業展開や、支援の在り方について検討し、本格的な営農再開と市農産物の市場流通に向けた取り組みを継続的に行っていく予定です。

## 担当部署

- 南相馬市経済部農政課再生係  
Tel 0244-44-6802